

脂肪組織における転写因子 NFIA の役割に関する研究

1. 研究の対象

2011 年 3 月～2021 年 9 月 の当院泌尿器科手術に際し、同科の臨床研究に御同意を頂き、脂肪採取をさせて頂いた方

2. 研究目的・方法

目的：本研究では脂肪組織を用いて NFIA（エヌエフワンエイ）遺伝子のメチル化および発現量の解析を行い、肥満や糖尿病との関係を検討することを目的としています。NFIA の役割を解明することは、肥満・糖尿病治療の前進に寄与するものと考えています。

方法：本研究では当院ですでに承認され実施された研究（課題名：脂肪組織由来 Adipokine と泌尿器癌増殖・進展の関連検討、主任研究者：腎泌尿器科学講座准教授 成田伸太郎、受付番号：757、平成 23 年 3 月 30 日承認、課題名：泌尿器腫瘍の治療反応、副作用と病勢の予知を目的とした脂質解析研究、主任研究者：腎泌尿器科学講座准教授 成田伸太郎、受付番号 1034、平成 28 年 12 月 16 日承認、課題名：腎細胞癌の腫瘍微小環境における脂肪由来幹細胞の働きの解明と新たな治療戦略の開発、主任研究者：腎泌尿器科学講座 武藤弓奈、受付番号：2102、平成 31 年 12 月 10 日承認）において、研究に御同意頂いた方（280 症例）の手術時に採取させて頂いた脂肪組織と血液および臨床情報を二次利用させて頂きます。脂肪組織と血液から抽出されたゲノム DNA ディーエヌエイ（遺伝子の鋳型）および RNA アールエヌエイ（たんぱく質の鋳型）を用いて、NFIA 遺伝子の修飾（メチル化）と NFIA および褐色脂肪に関連する遺伝子（UCP1 や FAPB4 など）の発現量を調べます。NFIA 遺伝子の修飾（メチル化）解析は東京大学先端科学技術研究センターにて行います。

期間：研究実施許可日～2030 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：脂肪組織(皮下および腎周囲)および血液

情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、診断名、診断日、服薬歴および一般臨床検査結果、手術・薬物療法・治療効果・再発・転帰を中心とした癌治療関連臨床情報、カルテ番号等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供は行いませんが、脂肪組織より得たゲノム DNA のメチル化データの解析を外部委託します。送付するデータは個人情報を特定できない識別コードにて取り扱います(対応表は、情報管理者が保管・管理します)。また、データは DNA 中の NFIA に関するごく一部の領域についてのものであり、個人を識別する情報にはなりません。

5. 研究組織

秋田大学大学院医学系研究科 代謝・内分泌内科学講座

教授 脇 裕典

大学院生 小木田彩香

助教 佐藤雄大

技術系スタッフ 藤嶋広美

技術系スタッフ 加賀谷香代子

医員 佐々木可奈

医員 高橋侑也

秋田大学 先端医学研究推進講座

特任教授 藤田浩樹

秋田大学医学部附属病院 総合臨床教育研修センター

特任助教 加藤俊祐

秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学講座

教授 羽瀨友則

准教授 成田伸太郎

(共同研究機関)

富山大学附属病院第一内科

教授 戸邊一之

東京大学医学部附属病院

教授 山内敏正

東京大学先端科学技術研究センター

特任准教授 堤修一

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表医師： 脇 裕典 代謝・内分泌内科学講座

〒010-8543 秋田市本道一丁目１の１ TEL：018-884-6769

-----以上